

わたしたちの身を守るために

被災から現在まで、狩野川流域では川幅の拡幅や放水路の建設など、さまざまな施設整備を実施しています。それでも風水害は起こらないとは言えません。近年、かつてない災害が日本各地で発生しており、事前に想定された浸水・土砂災害危険区域において、大きな被害がでていきます。

災害時に自分の身を守ることができるのは自分自身です。いざというときに困らないため、被害を最小限に抑えるために、日頃からの準備が重要です。

日頃の準備

1 避難の場所・経路・方法の確認



1次避難所、指定避難所、河川の位置などを把握し、災害発生時の避難経路や方法をあらかじめ確認しましょう。

2 家の周りの点検



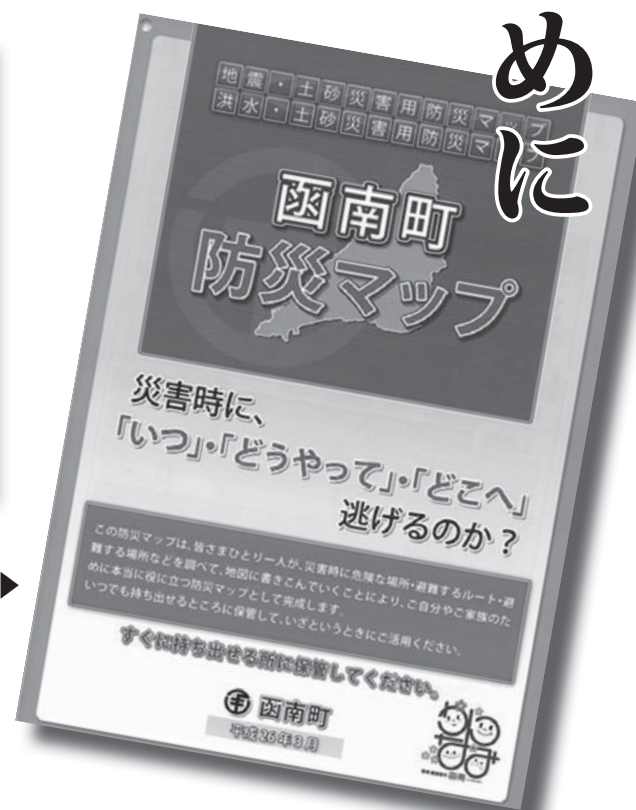
風で飛ばされそうなものはないか、雨戸や雨樋は傷んでいないか、側溝がゴミで詰まっていないか自宅の状態を確認しましょう。

3 備蓄品や非常用持ち出し品の確認



停電に備えた懐中電灯、ラジオ、防寒対策、非常食など非常時の持出品を整えましょう。

災害時に「いつ」「どうやって」「どこへ」逃げるのかを考えていただくために「函南町防災マップ」をご活用ください。防災マップは総務課で配布しています。ご家庭にない人は、総務課（979-8102）にご連絡ください。



避難の心構え

1 早めの行動

冠水後の避難は非常に危険です。気象情報や避難情報をよく確認してください。特に、避難に時間がかかる人や、住んでいるところが警戒区域など注意が必要な人は危険が迫る前に早めの避難を心がけてください。

また、動いている水には絶対に入らないで、できるだけ高いところに避難してください。

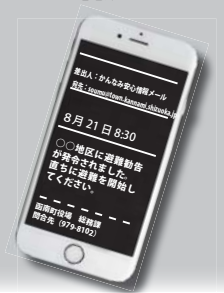
2 避難方法

身の安全を守る動きやすい服装で避難してください。履き物は長靴だと水深が深いと動きにくくなるので注意してください。

避難には、立退き避難（水平避難）と屋内安全確保（垂直避難）があります。状況に応じて適切な避難を行ってください。また、必ず2人以上で避難してください。

気象・避難情報を素早く得るために

かなみ
安心情報
メール



防災・防犯など函南町の情報をリアルタイムで配信

「かなみなみ安心情報メール」は、登録いただいた人の携帯電話やスマートフォン・パソコンなどに函南町の防災情報・防犯情報などをメールで配信するサービスです。気象情報や避難情報など、防災に関する情報をリアルタイムで配信します。ぜひご利用ください。

【登録方法】

QRコードを読み取りサイトにアクセスし、「空メール」を送信してください。



QRコードの読み取りができない場合は「t.kannam@sg.m.jp」に「空メール」を送信してください。※「空メール」とは件名・本文を入力しないメールのことです。

情報・行動の種類

← 事態の深刻化

○気象情報の種類

大雨注意報

大雨警報

土砂災害警戒情報

土砂災害発生危険性が高まった場合

記録的短時間大雨情報

数年に1度の記録的な雨量が発生・解析された場合

大雨特別警報

数十年に1度の大雨が、広域で予想され、重大な災害の起こる恐れを警告する場合

← 危険性大

○避難情報の種類

避難準備・高齢者等避難開始

立退き避難する

・避難に時間のかかる人は立退き避難する

・その他の人は避難の準備をする

避難勧告

速やかに立退き避難する

避難指示(緊急)

極めて危険な状態になっており、未だ避難していない人は緊急に避難する

○避難行動の種類

立退き避難 (水平避難)

指定避難所、公民館、知人宅などその場を立ち退き、近隣の少しでも安全な場所に一時的に避難すること

屋内安全確保 (垂直避難)

自宅などの居場所や安全を確保できる場所に留まることや、切迫した状況において、外への避難が危険なため、屋内の2階以上に避難すること